



株式会社ウイルテック

( 7087 : 東証第2部)

# 2020年3月期決算説明資料

2020年5月

- 新型コロナウイルス感染拡大による影響
- 2020/3期決算の概要と次期見通し
- 株主還元方針
- 今後の展望

# 新型コロナウイルス感染拡大による影響

## ■ 現在、顕在化している影響

- ✓ 2月後半より、工場の稼働休止など海外案件の需要が縮小
- ✓ 国内では3月後半に減産等で影響が一部発現

➡ 売上ベースで数億円のマイナス影響。ただし、別案件取り込みにより、決算への影響は限定的

## ■ 今後、予想される影響

- ✓ 顧客のテレワーク増加などにより、マニファクチャリングサポート事業は稼働率が低下
- ✓ コンストラクションサポート事業も、建設工事の進捗遅れから、需要は大幅に後退
- ✓ サプライチェーンの見直しによって、生産の国内回帰による人材需要の高まりの可能性

➡ 2021/3期決算への影響を現段階では見通せない状況

## ■ 雇用に対する考え方

- ✓ 正社員にこだわる姿勢は堅持。こうした環境下でもその姿勢を維持する方針に変化なし



## 2020/3期決算概要と次期見通し

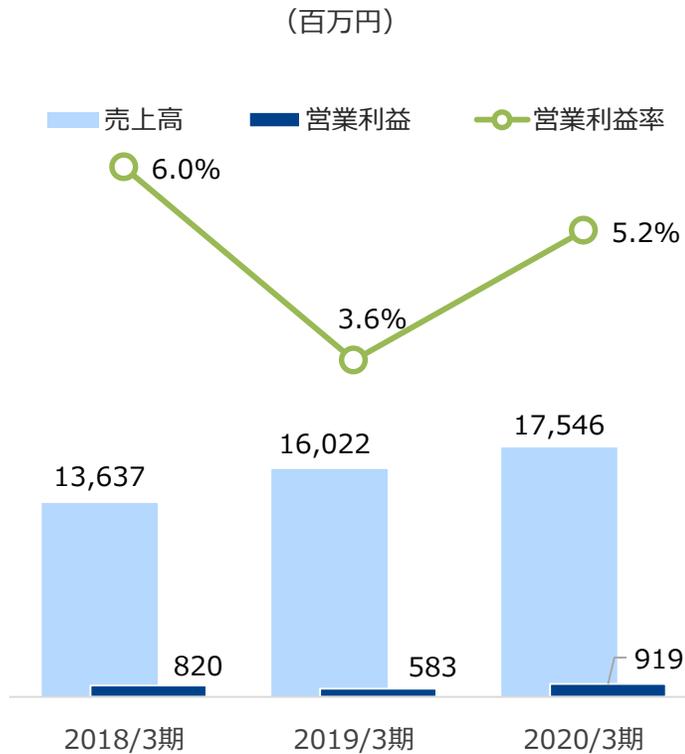
# 2020/3期決算の概要

- 増収増益。顧客先市場の好調と人材不足を追い風に、売上高は前期比+19億円(+8%)の増加。損益的には、増収効果に加え、コスト管理の徹底と業務効率化推進により、前期比+2.8億円(+33%)の営業増益を達成
- 従来予想比では、期末の新型コロナ関連で数億円(売上ベース)の影響が発生。他の需要を取り込んで減殺したものの、売上高は若干の未達。一方、営業利益は効率化推進・高付加価値サービスの伸長で超過達成

(百万円)	2019/3期	2020/3期		前期比		直近予想比 増減額
		直近予想 (2020/3)	実績	増減額	増減率	
売上高	22,899	25,001	<b>24,800</b>	+1,900	8.3%	▲ 201
マニファクチャリングサポート	16,022	17,681	<b>17,546</b>	+1,524	9.5%	▲ 135
コンストラクションサポート	3,025	3,608	<b>3,542</b>	+516	17.1%	▲ 66
EMS	3,772	3,621	<b>3,623</b>	▲ 148	▲3.9%	+2
営業利益	851	1,110	<b>1,129</b>	+278	32.6%	+19
マニファクチャリングサポート	583	–	<b>919</b>	+335	57.5%	–
コンストラクションサポート	131	–	<b>147</b>	+16	12.2%	–
EMS	114	–	<b>71</b>	▲ 43	▲38.0%	–
経常利益	939	1,143	<b>1,175</b>	+235	25.1%	+32
親会社株主帰属当期純利益	649	758	<b>765</b>	+115	17.8%	+7
営業利益率	3.7%	4.4%	<b>4.6%</b>	+0.9p	–	+0.2p
経常利益率	4.1%	4.6%	<b>4.7%</b>	+0.6p	–	+0.1p

# セグメント別業績（マニファクチャリングサポート事業）

- 受注好調にて増収増益。前期より上げた人件費の影響を吸収し、営業利益率は5%台を回復
- 情報通信機器製造向けでは、IoT及び5G設備関連企業への受注が好調。輸送用機械向け及び情報通信関連企業向けへの受注が好調
- 一方、電子部品・デバイス・電子回路製造向けでは、液晶パネル減産の影響を受け、売上高は減少  
マニファクチャリングサポート事業



(百万円) (括弧内：構成比)	2019/3月期	2020/3月期	前期比 増減額	前期比 増減率
電子部品・デバイス・ 電子回路製造業	5,194 (32.4%)	4,635 (26.4%)	▲559	▲10.8%
情報通信機械器具 製造業	3,053 (19.1%)	4,075 (23.2%)	+1,023	+33.5%
電気機械器具製造業	2,227 (13.9%)	2,374 (13.5%)	+147	+6.6%
その他	5,549 (34.6%)	6,463 (36.8%)	+914	+16.5%
合計	16,022 (100%)	17,546 (100%)	+1,524	+9.5%

米中貿易摩擦での  
需要減退により減  
産

IoT及び5G設備関  
連企業が好調

輸送用機械向け及  
び情報通信関連企  
業向けが好調

# セグメント別業績（コンストラクションサポート事業）

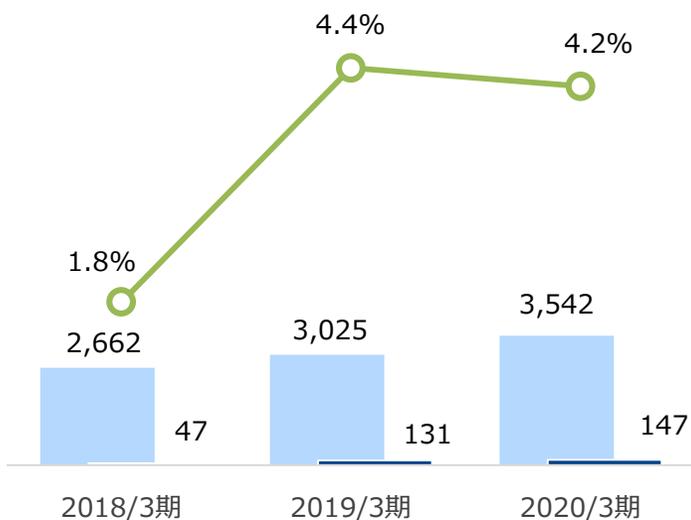
■ 環境関連の建築設備技術分野の好調などにより増収増益

■ 空調衛生にかかる建築設備が好調。加えて、建設以外の産業で特定建設業許可の取得による大口の電気工事受注あり

## コンストラクションサポート事業

(百万円)

■ 売上高 ■ 営業利益 ● 営業利益率



(百万円) (括弧内：構成比)	2019/3月期	2020/3月期	前期比 増減額	前期比 増減率
建築	1,290 (42.6%)	1,411 (39.8%)	+121	+9.4%
建築設備	1,216 (40.2%)	1,545 (43.6%)	+329	+27.0%
その他建設業	515 (17.1%)	507 (14.3%)	▲8	▲1.6%
建設業以外	2 (0.1%)	77 (2.2%)	+74	- %
合計	3,025 (100%)	3,542 (100%)	+516	+17.1%

リニューアル工事の増加や省エネルギー化、室内環境の改善及び運用コストの低減を目的とした高機能化により業務量が増加し続けている建築設備技術分野が好調

特定建設業許可の取得による電気工事受注あり

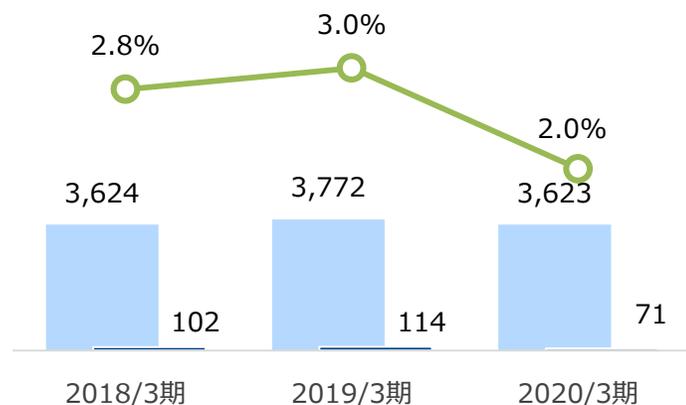
# セグメント別業績（EMS事業）

- 中国・東南アジア向け半導体及び繊維機械、工作機械市場の悪化、国内では省エネ関連投資の見送りにより業績低迷
- 米中貿易摩擦の影響等による生産低下に加え、高粗利ユニット製品の落込みによる製品構成悪化で減収減益

## EMS事業

(百万円)

■ 売上高 ■ 営業利益 ● 営業利益率



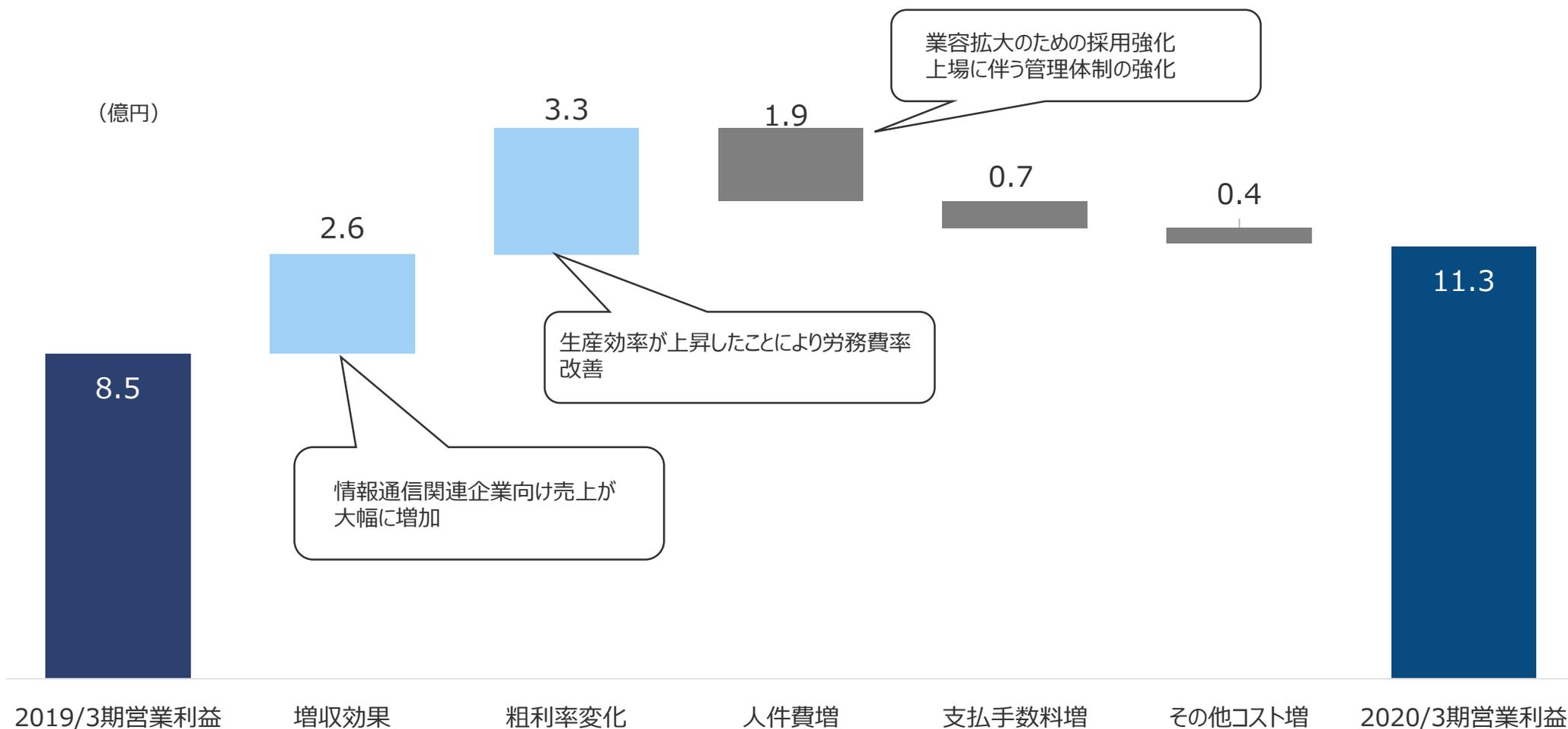
(百万円) (括弧内：構成比)	2019/3月期	2020/3月期	前期比 増減額	前期比 増減率
デバイス	2,074 (55.0%)	2,031 (56.1%)	▲43	▲2.1%
ユニット	1,697 (45.0%)	1,591 (43.9%)	▲105	▲6.2%
合計	3,772 (100%)	3,623 (100%)	▲148	▲3.9%

1～3Qは工場設備投資（LMP）、エコ関連投資が低迷、4Q回復したものの前期比ダウン

上期は半導体、工作機械低迷、下期は半導体が復調したものの、工作機械に続き、繊維機械が大幅ダウン

# 営業利益増減要因分析

- マニファクチャリングサポート事業を中心とした増収効果、粗利率改善が増益要因として寄与。採用強化に伴う人件費増等による販管費増などを吸収し、3割を超える増益に

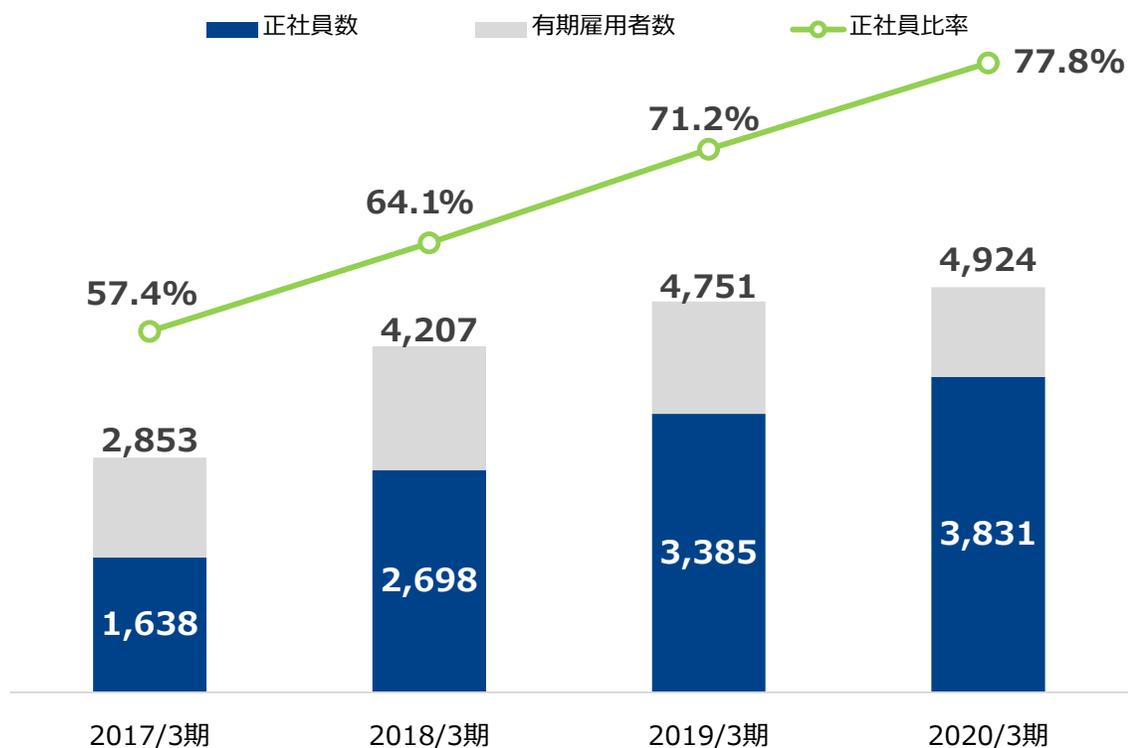


# 営業利益増減要因分析

- 当社の製造請負・派遣業務はほとんどが正社員(無期雇用)。2017/3期以降2倍(+約1.8千人)
- 正社員としての雇用により、モチベーション・モラル・スキルの向上が図れ、生産性の向上にも貢献
- さらには、他部署へのキャリアチェンジの機会も提供

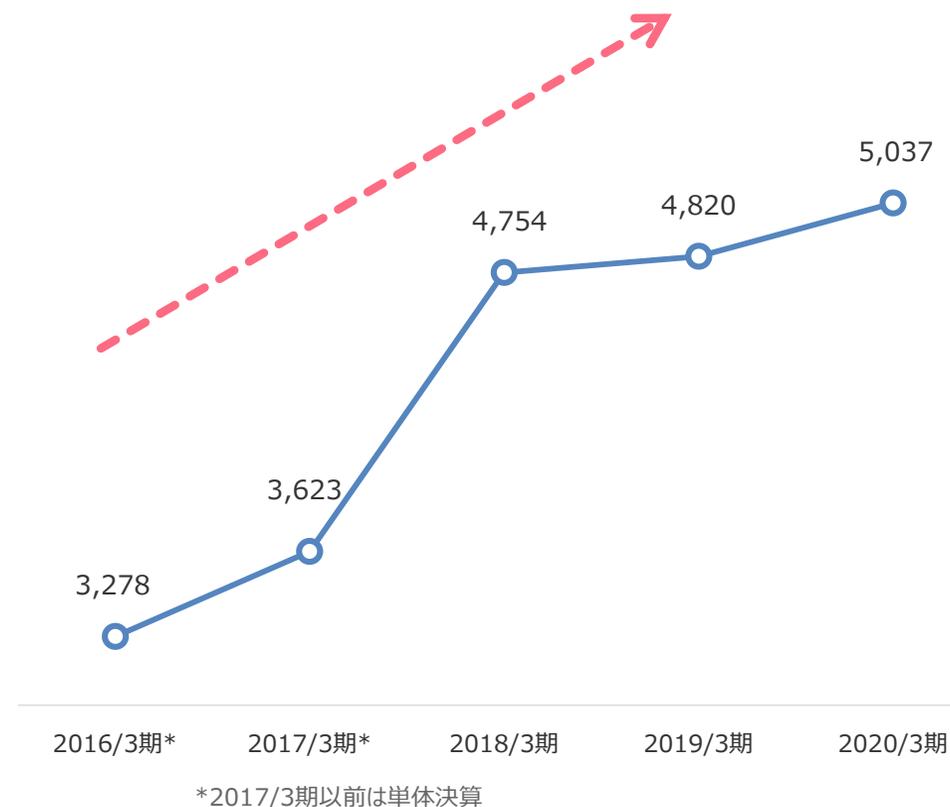
## 従業員数の推移

(人)



## 従業員一人当たり売上高の推移

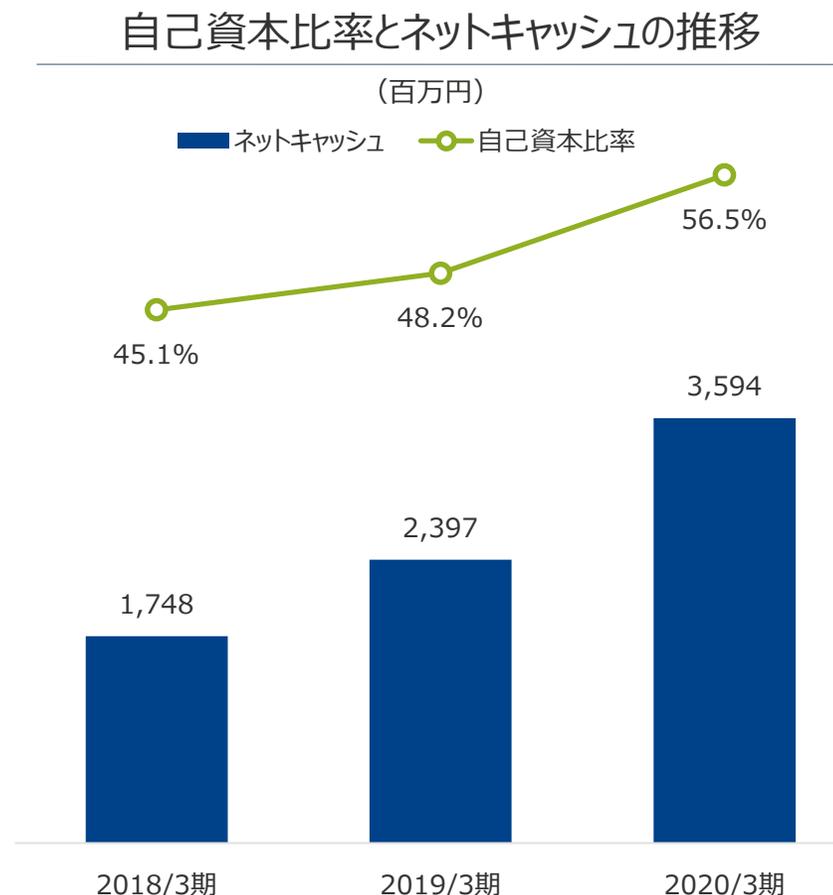
(千円)



# バランスシートの状況

- 上場時の自己株式売出しにより現預金増。売上拡大に伴う売上債権も増加となり、総資産は100億円超に。その他負債の増加は税金負担に起因
- ネットキャッシュ残高は36億円。自己資本比率は57%に上昇し、財務基盤の強化進む

(百万円)	2018/3期	2019/3期	2020/3期	前期比増減
流動資産	7,827	8,419	<b>9,573</b>	<b>+1,154</b>
現預金	3,275	3,576	<b>4,535</b>	<b>+958</b>
売掛債権	3,852	3,870	<b>4,299</b>	<b>+429</b>
棚卸資産	278	286	<b>277</b>	<b>▲ 9</b>
固定資産	1,271	1,291	<b>1,438</b>	<b>+146</b>
総資産	9,099	9,711	<b>11,011</b>	<b>+1,300</b>
負債	5,000	5,031	<b>4,785</b>	<b>▲ 246</b>
買入債務	477	359	<b>413</b>	<b>+54</b>
有利子負債	1,526	1,179	<b>940</b>	<b>▲ 238</b>
未払費用	1,420	1,605	<b>1,505</b>	<b>▲ 100</b>
その他	1,577	1,887	<b>1,926</b>	<b>+38</b>
純資産	4,099	4,679	<b>6,225</b>	<b>+1,546</b>
負債純資産合計	9,099	9,711	<b>11,011</b>	<b>+1,300</b>

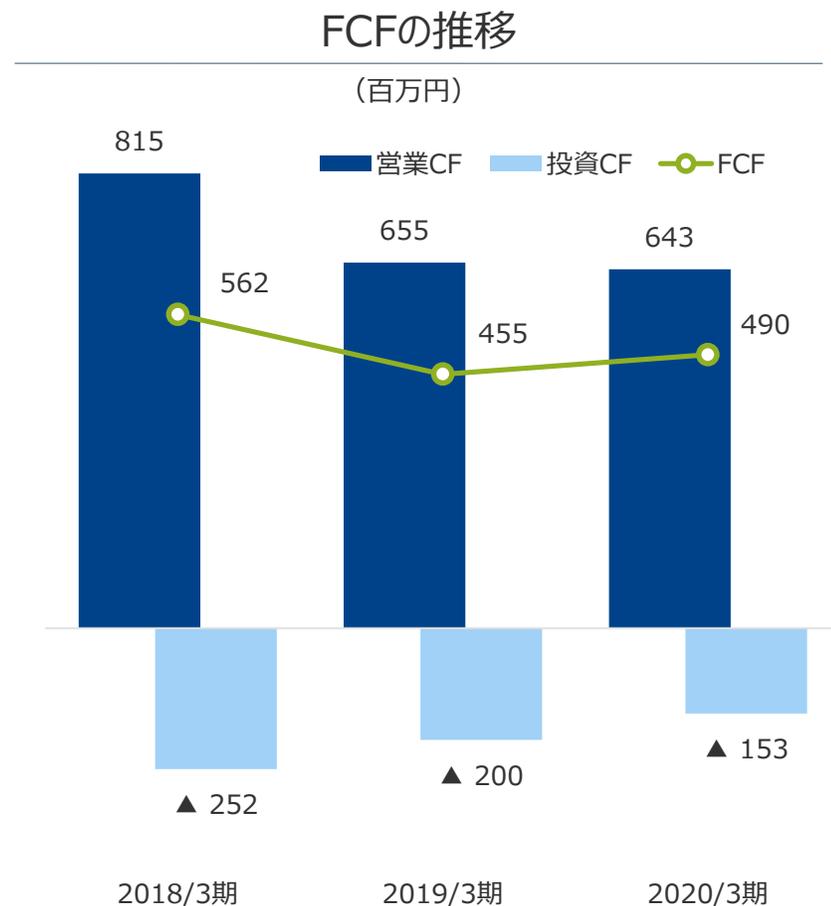


# キャッシュフローの状況

- 営業CFにおいては、本業順調追い風とした利益ベースの拡大はあったものの、売上債権増、未払費用増などによりやや縮小
- 投資CFにおいては、ほぼ例年水準の投資を継続。ロボット関連投資も一部スタート。FCFは5億円程度の黒字を計上

(百万円)	2018/3期	2019/3期	2020/3期	前期比増減
営業CF	815	655	<b>643</b>	▲ 12
投資CF	▲ 252	▲ 200	<b>▲ 153</b>	47
固定資産取得	▲ 112	▲ 85	<b>▲ 91</b>	▲ 5
差入保証金増減	▲ 77	▲ 60	<b>▲ 17</b>	43
FCF	562	455	<b>490</b>	35
財務CF	▲ 66	▲ 214	<b>409</b>	623
借入金の返済等	▲ 100	▲ 146	<b>▲ 336</b>	▲ 189
株式発行収入	105	0	<b>1,020</b>	1,020
配当金支払額	▲ 71	▲ 67	<b>▲ 237</b>	▲ 170

\* FCF=営業CF+投資CF で算出

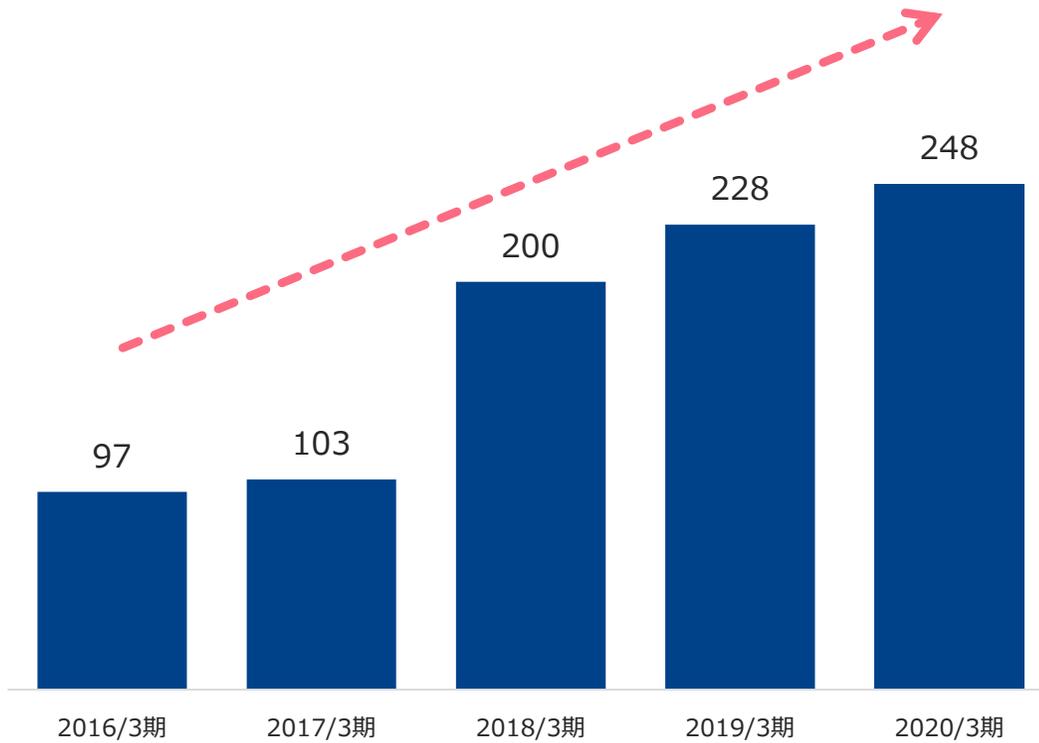


# (ご参考) 業績推移

- 売上高は増収基調を継続。2018/3期には連結決算に移行。以降、年率10%超で成長
- 経常利益は4%超で推移も、直近では5%台を伺う方向

## 売上高の推移

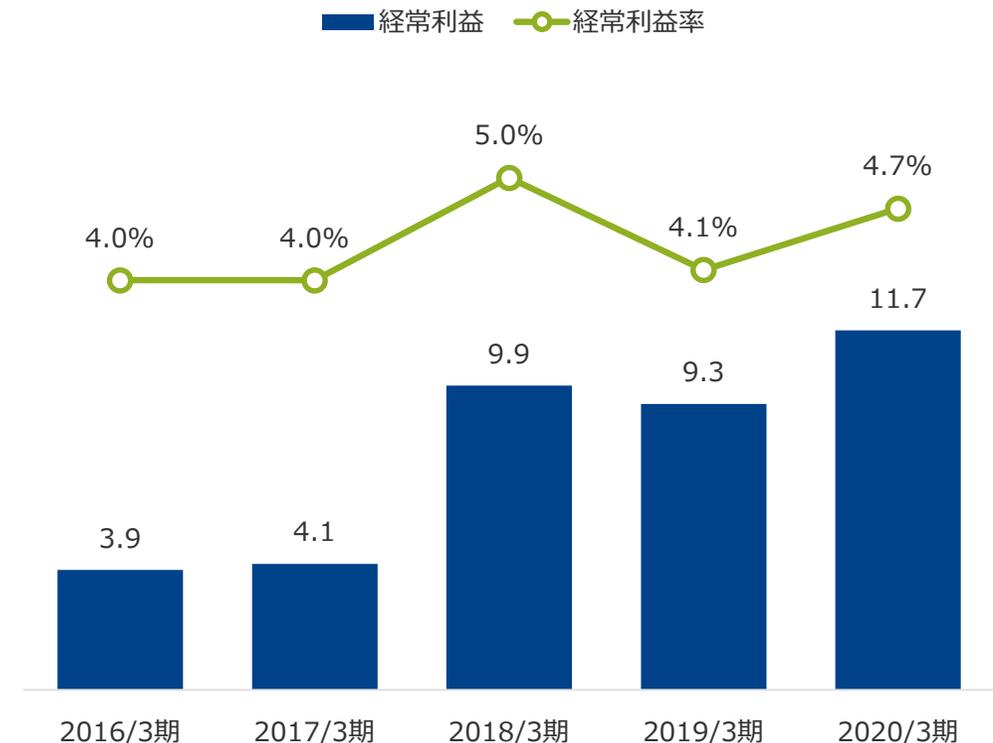
(億円)



\*2017/3期以前は単体決算

## 経常利益及び同利益率の推移

(億円)



\*2017/3期以前は単体決算

**現段階において、新型コロナウイルス感染拡大による  
業績への影響を合理的に見通すことは困難**



**2021/3期決算見通しは未定**

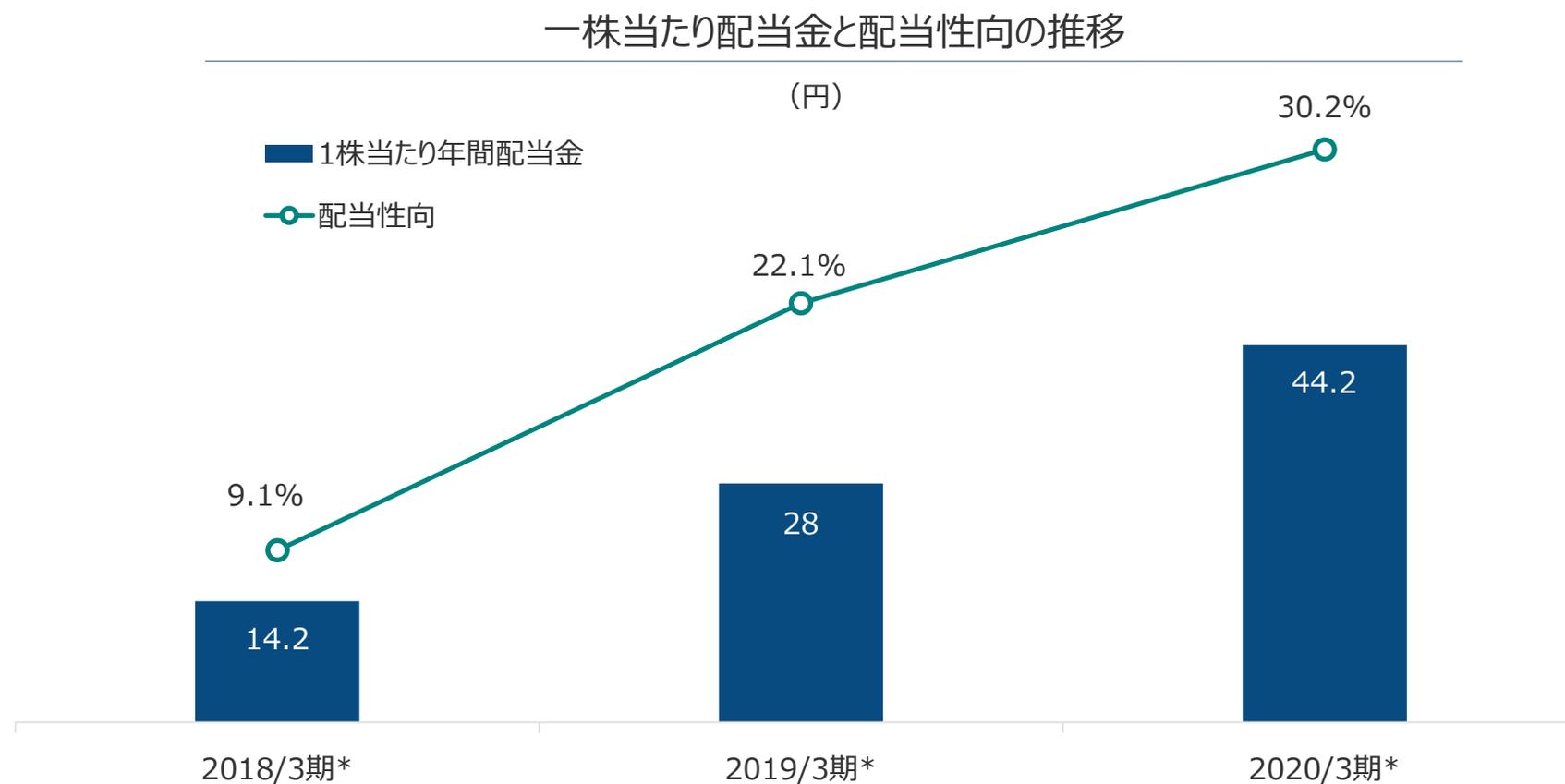
**今後、業績への影響を見極められた段階で、可及的速やかに決算見通しを開示の予定**



## 株主還元方針

# 株主還元方針

- 株主還元については、中間配当と合わせ年2回実施。配当性向の目安は30%
- 2020/3期は1株当たり44.2円を予定（期末配当は20円）。2021/3期については未定



\*2019年10月16日付けで株式分割（普通株式1株につき5株の割合）を実施しているため、1株当たり年間配当金を株式分割後の基準で換算して表記しております



## 今後の展望

# 今後顕在化するニーズ

## ■ サプライチェーンの国内回帰や需要回復期における人材ニーズの拡大を見込む

新型コロナウイルス感染症終息後の事業環境

サプライチェーンの国内回帰

2021年3月期の新卒採用数の減少などによる需要回復期における人材需要が活発化



当社への影響

- ✓ 製造請負・製造派遣、技術者派遣等の人材ニーズ拡大
- ✓ 受託製造、電子部品卸売に対するニーズ増加

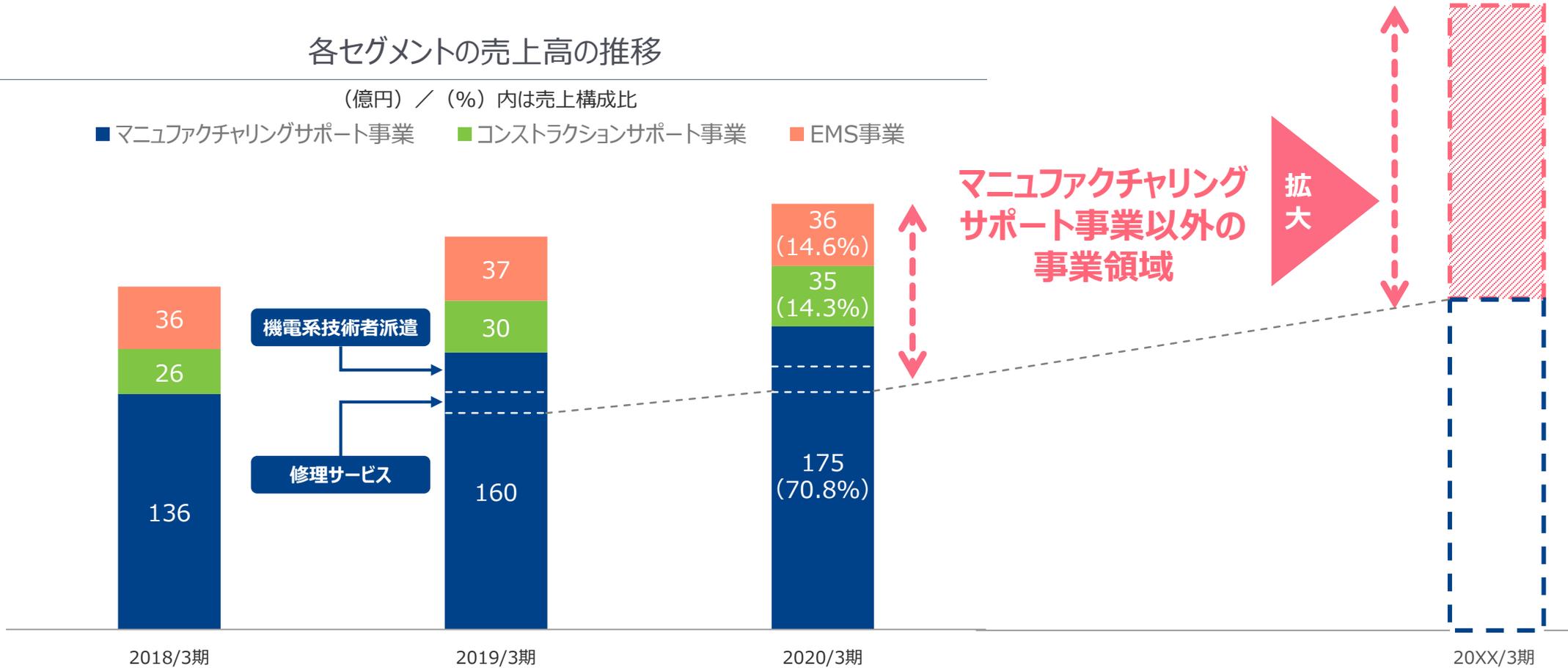
# 事業領域の多角化

- 全社売上に占めるマニュファクチャリングサポート事業(製造請負/製造派遣)以外の事業の売上比率は徐々に拡大
- サービス事業の展開により、今後さらにこの比率の引上げを推進

各セグメントの売上高の推移

(億円) / (%) 内は売上構成比

■ マニュファクチャリングサポート事業 ■ コンストラクションサポート事業 ■ EMS事業



# APPENDIX



# 会社概要

社名	株式会社ウイルテック (英文表記: WILLTEC Co.,Ltd.)			
代表者	代表取締役社長 宮城 力			
設立年月日	1992年(平成4年) 4月			
本社所在地	〒532-0002 大阪府大阪市淀川区東三国4丁目3番1号			
資本金	9,800万円 (2020年3月末現在)			
役員構成	取締役会長 代表取締役社長 常務取締役 取締役 取締役	小倉 秀司 宮城 力 野地 恭雄 西 隆弘 渡邊 剛	取締役 取締役(監査等委員) 社外取締役(監査等委員) 社外取締役(監査等委員)	石井 秀暁 京崎 利彦 麻田 祐司 見宮 大介
事業内容	製造請負/製造派遣/技術者派遣/受託製造/電子部品卸売/修理サービス/海外人材育成、など			
売上規模	24,800百万円 (連結/2020年3月期)			
従業員数	4,924名 (連結/2020年3月末現在) ※平均臨時雇用者含む			
グループ会社	株式会社ワット・コンサルティング デバイス販売テクノ株式会社 株式会社ウイルハーツ 株式会社宮崎ウイルファーム WILLTEC VIETNAM Co.,Ltd. WILLTEC MYANMAR Co.,Ltd.			

1992年	4月	株式会社アイピーエヌを大阪府門真市に設立(設立資本金10,000千円)
2003年	4月	製造技術部門設立、出来高請負を開始
	8月	一般労働者派遣事業許可・有料職業紹介事業許可を取得
2004年	10月	株式会社ウイルテックに商号変更 株式会社ジェイシーアイ(現：株式会社ウイルハーツ)をグループ会社化(現連結子会社) 株式会社エフオーエスをグループ会社化(連結子会社)(2009年4月合併)
2005年	3月	株式会社ワット・コンサルティングをグループ会社化(現連結子会社)、「専門技術者・建設技術者派遣」へ進出
	7月	株式会社ウイルテック九州を設立(連結子会社) (2013年10月合併)、九州地区重点地域化
2007年	4月	株式会社ジェイシーアイ(現：株式会社ウイルハーツ)(現連結子会社)特例子会社認定、「障害者雇用」を促進
2009年	4月	株式会社宮崎ウイルファームを設立(現連結子会社)、「一次産業」へ事業拡大 株式会社ウイルテック九州大分工場を大分県大分市に設立、EMS事業体制の確立
2011年	4月	本店移転(大阪市淀川区) 製造請負優良適正事業者にて第1号認定(製造請負事業改善推進協議会)
2012年	4月	修理サービス事業を開始
2013年	4月	事業開発部門の設置、設備製造と修理サービス事業を本格化
2014年	10月	デバイス販売テクノ株式会社をグループ会社化(現連結子会社)、技術商社機能を取得
2015年	4月	優良派遣事業者認定制度において優良派遣事業者にて認定(厚生労働省委託事業)
	12月	ベトナム ハノイオフィス開設、ASEANへ海外事業部門オフィスを設置
2016年	6月	ミャンマー国立タウンジー技術大学にて日本語教育講座を開講(2016.2月合意書締結)、海外人材育成の本格化
2018年	2月	WILLTEC VIETNAM Co., Ltd. 設立(連結子会社)
	4月	株式会社ワット・コンサルティングの技術事業を譲受
	6月	WILLTEC MYANMAR Co., Ltd. 設立(連結子会社) 技術者育成を目的として、大阪研修センター開設(株ウイルテック)
2019年	3月	技術者育成を目的として、福岡研修センター開設(株ワット・コンサルティング)
2020年	3月	東京証券取引所第二部上場

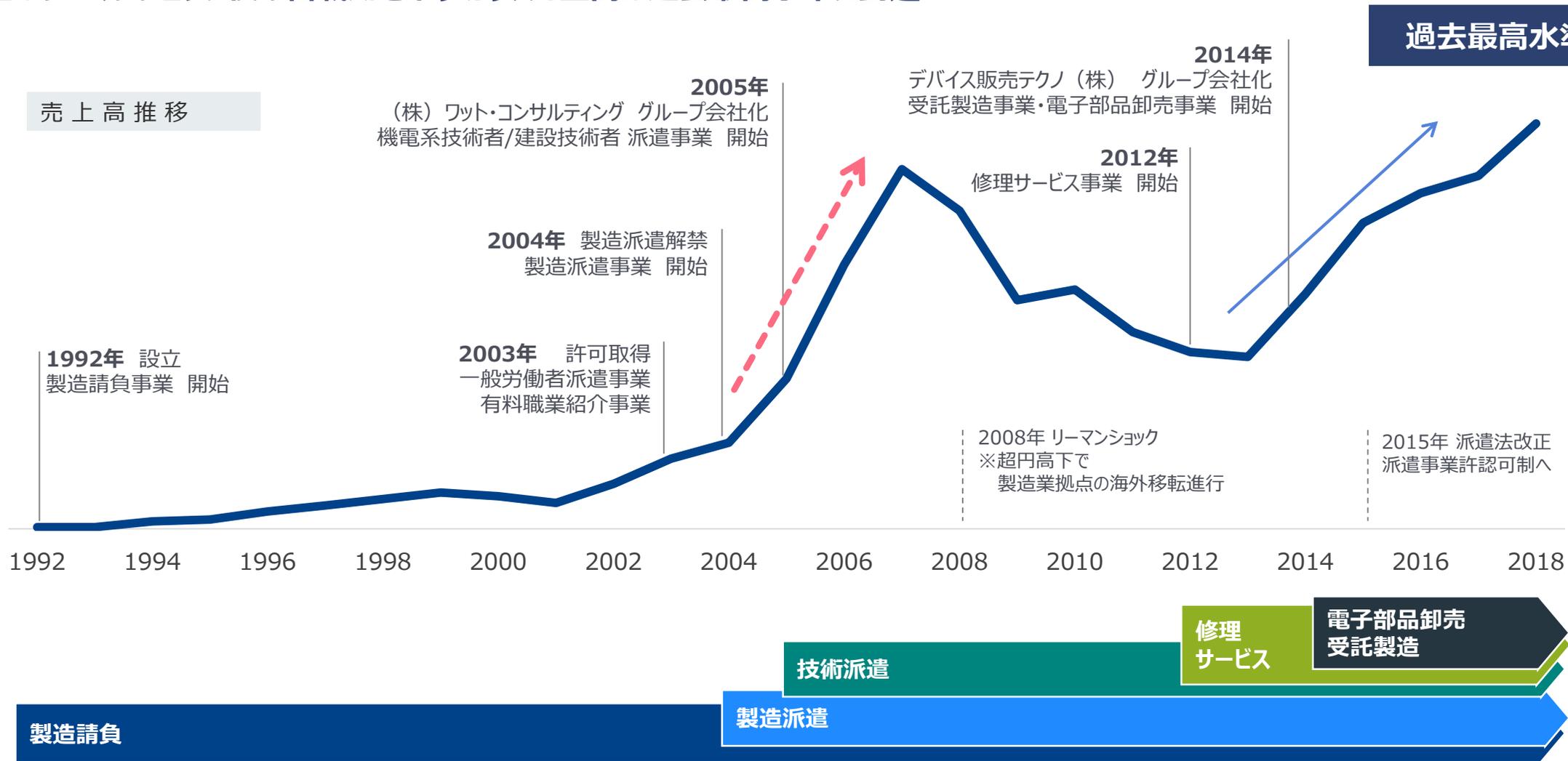
## “ものづくり”を支援する会社

### ポイント

- “ものづくり”支援の観点からあらゆるオプションの提供に注力
- 支援内容の高付加価値化を推進
- 国の「働き方改革」政策の中、“ものづくり”支援の進化を模索

# 沿革

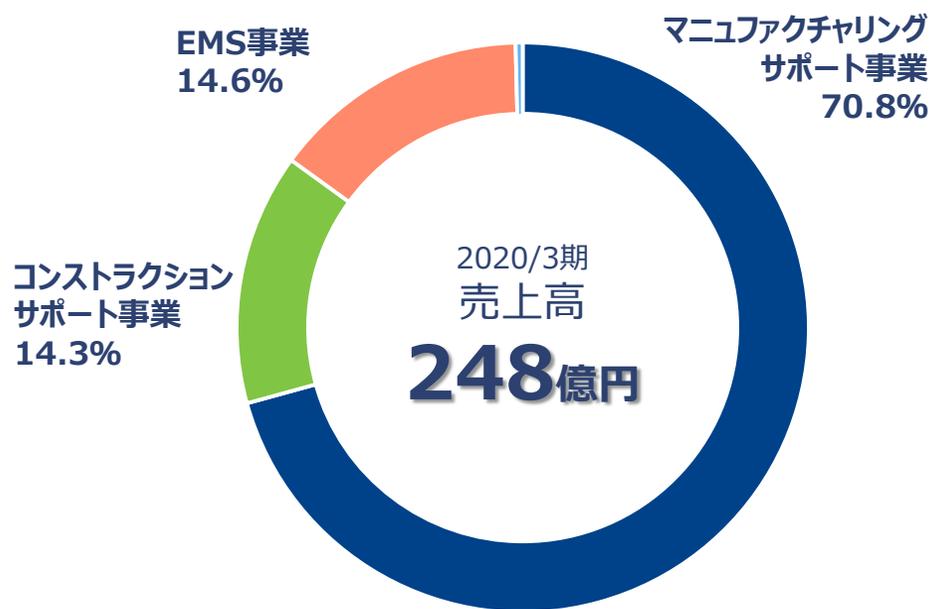
- スタートは製造請負。“ものづくり”を支援する会社を標榜し、業務領域と売上規模の拡大を追求
- 現在はリーマンショック後の苦戦期を乗り越え、売上高は過去最高水準に到達



# 事業内容

- 主たる業務は、製造請負・製造派遣・技術者派遣・修理サービスなど
- 事業セグメントは、「マニファクチャリングサポート事業」、「コンストラクションサポート事業」、「EMS事業」で構成  
「マニファクチャリングサポート事業」が売上全体の7割を占める
- 製造請負・人材派遣・受託製造を主体に機能別事業持株会社として企業グループを形成

## 事業構成



## 事業セグメント

マニファクチャリングサポート事業	
製造請負・製造派遣・機電系技術者派遣・修理サービス (株)ウイルテック/当社)	
コンストラクションサポート事業	
建設系技術者派遣 (株)ワット・コンサルティング/連結子会社)	
EMS事業	
受託製造・電子部品卸売 (デバイス販売テクノ(株)/連結子会社)	
その他	
	障がい者支援 (株)ウイルハーツ/連結子会社)
	畜産 (株)宮崎ウイルファーム/連結子会社)
	海外 (ウイルテックベトナム・ウイルテックミャンマー/連結子会社)
	
	

■ 当社がマニファクチャリングサポート事業として、製造請負・製造派遣、機電系技術者派遣、修理サービスを実施

## 事業内容



### 製造請負・製造派遣事業

**製造請負** メーカーに対して、当社の生産技術力、品質管理力、労務管理力をもって製造・加工・検査等を行い、成果物を納品

**製造派遣** メーカーを中心に、当社の従業員を派遣し、製造・加工・検査等を実施



### 機電系技術者派遣事業

産業機械・装置メーカー、民生機器メーカー等に対して、設計関連に習熟した技術を持つ人材を派遣し、機械、電気・電子、ソフトウェア等に関する開発、設計を実施。未経験者への基礎研修や経験者への応用研修を行う研修センターを東京と大阪に設置



### 修理サービス事業

法人を顧客として、主に電源設備や電気機器の訪問修理や付帯するコールセンターの受託運営等を実施



## ■ 連結子会社である株式会社ワット・コンサルティングが建設系技術者派遣を実施

### 事業内容

#### 建設系技術者派遣事業

建設関連のフィールドを支える優秀な技術者を派遣し、業務の円滑な遂行をサポート

#### 建築



マンション・オフィスビル・商業施設・公共施設などの各種建築プロジェクトにおいて技術サービスを提供

#### 空調・衛生



空気調和・換気設備・給排水衛生設備・消化設備など各種プロジェクトにおける技術サービスを提供

#### 電気



弱電・強電・計装・受変電設備など各種プロジェクトにおける技術サービスを提供

#### 土木



道路・橋梁・トンネル・鉄道・ダム・上下水道などの各種プロジェクトにおける技術サービスを提供

## ■ 連結子会社であるデバイス販売テクノ株式会社が受託製造、電子部品卸売を実施

### 事業内容

#### 受託製造事業

コストも重視し、必要機能に特化して効率の良いユニットの開発・製造受託

制御



基板



通信



電源



国内工場（福島県） 主要設備

品質保証体制ISO9001 環境保全活動ISO14001



左: スプレーブラッカー装置

右: 自動はんだ付装置 (N2対応)

多機能タイプマウンター

(BGA・CSP・大径コネクタ対応)

#### 電子部品卸売事業

システム機器



リレー



コネクタ



サーボモータ



## < 見通しに関する注意事項 >

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

お問い合わせ先  
情報統括部 広報・IR課 IR担当  
06-6399-9088 (代表)  
ir\_info@willtec.jp